

2019年度第1回 鎌倉市障害者支援協議会全体会 会議結果概要

開催日時	2019年5月29日（水）14時00分から16時15分まで
開催場所	鎌倉市福祉センター2階 第1・2会議室
出席者	<p>[全体会委員] ○15名出席（4名欠席）</p> <p>[運営会議委員] ○4名出席（1名欠席）</p> <p>[オブザーバー] ○1名出席（横須賀三浦障害福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター）</p> <p>[事務局] ○9名出席</p> <p>以上29名出席（「2019年度鎌倉市障害者支援協議会 第1回全体会 出席者名簿」を参照）</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回全体会 会議次第 ・第1回全体会 出席者名簿 ・平成30年度 第3回全体会会議結果概要（案） ・（資料1）平成30年度鎌倉市基幹相談支援センター事業の実施状況について ・（資料2）鎌倉市基幹相談支援センター 総合相談事業の状況 ・（資料3）平成30年度鎌倉市障害者相談支援事業（委託相談支援）報告 ・（資料4）平成30年度鎌倉市障害者相談支援事業 年間相談支援実績（3委託相談支援事業所） ・（資料5）2019年度 各専門部会での取組みテーマ（予定）等 ・（資料6）地域生活支援拠点等の整備「求められる5つの機能」の検討（地域生活支援部会からの意見等） ・2019年度専門部会委員（名簿）構成（当日配布）
会議概要	<p>1. 開会 冒頭、委員の出席状況、オブザーバー出席及び会議の成立に係る報告、並びに配布資料及び記録作成のための録音に関する確認を行った。</p> <p>2. 会長・副会長の選出 今年度からの新規委員よりご挨拶いただいた。また、昨年度まで副会長だった内藤委員が辞任したため、事務局から宇高委員を副会長候補として提案し、全員の了承を得て選出された。</p> <p>3. 議題（報告・協議事項） （1）平成30年度基幹相談支援センターの活動状況 事務局から、総合相談事業、障害者支援協議会に関する事業及び人材育成等のその他事業の実施状況について、それぞれ資料に基づいて説明・報告を行い了承された。</p>

<p>会議概要 (続き)</p>	<p>主な報告内容としては以下の通り；</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワンストップ相談件数が右肩上がりに増えている。 ・特に高齢者の基幹からの相談件数が、倍になっている。 <p>《主な質疑・意見等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前、相談支援部会があったが、これはあった方がよい。 ・「障害福祉相談員」制度との関係はどうなっているか。 <p>→当事者のご家族などで構成している相談員制度で、以前、県が行っていたが、今は市が実施している。身近な方のちょっとした相談などができる制度として残しており、福祉相談員が手に負えないような相談については、相談支援専門員や相談機関に繋ぐ、ということも考えられる。</p> <p>(2) 平成 30 年度鎌倉市障害者相談支援事業（委託相談支援）報告</p> <p>3 委託事業所が資料に基づいて報告を行い、了承された。</p> <p>《主な質疑・意見等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケースが複雑化しており、相談員の力量だけで利用者の生活をどうにか成り立たせている現状が多くある。 ・現在、鎌倉市では地域福祉計画を作ろうとしている。同計画に障害者支援協議会での議論がきちんと取り上げられるよう、障害者支援協議会として、地域福祉計画に対し提言を行ってほしい。 ・鎌倉市で現在、策定を予定している子ども総合支援条例に、障害のある子どもをどのように位置付けてほしいか、8 月頃までに提言してほしい。 ・今、鎌倉市が策定を考えている第 4 次総合計画の中に「鎌倉版地域包括ケアシステムの構築」が入っており、これに対して必要に応じて意見を出してほしい。 ・身体障害者数は精神障害者数と近いことになっているが、相談件数としては身体障害の方からの相談件数は少ない。この理由は何か。 <p>→統計上、身障手帳所持者は高齢者が中心で、中途障害等で身体障害になった方からの相談はあるが、乳幼児期から身障手帳を取得している方が、今、改めて相談、ということは少ないと思われる。また、報告の数字は委託 3 事業所のみのものであるため、すぐにサービスに繋がって指定特定相談で関与している数字は含まれていないということも理由として考えられる。</p> <p>一方、精神障害の方の相談については、相談する場所があることで相談件数も増えることになるという点と、精神障害に特化した相談支援事業所もあるという点、そして鎌倉の人口規模にしてはある程度の数の精神科のクリニックがあるという点が、要因と思われる。また、相談しやすい環境にもなっていると思われるが、それに対応し続けることができるかは、今後の課題と考える。 ・鎌倉市のセルフプランについては、計画相談がしっかりできていて、近隣市町村と比べてうまくいっているという考えで良いか。 <p>→鎌倉市では、基本的に相談支援事業所が関わってのプランニングを推奨して、その通りになっていると考える。一方で、ご本人がセルフプランでやった方が自立していくであろうと考えたケースについて、市と協議してセルフプランで</p> </p>
----------------------	--

<p>会議概要 (続き)</p>	<p>進めるということもある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セルフプランについては、モニタリングがないことを理解する必要がある。 ・相談支援を広める前に、介護の担い手を増やすことを市で真剣に考えてもらいたい。良い支援体制を構築しても、そこで支援するヘルパーがいなければ何も進まない。直接支援するヘルパーは、利用者から現場で怒鳴られたり手を上げられたりして、病んで休んでいる人が何人もいる実態がある。この点をどう理解してどうつなげていくか、を考えるとところから始める必要がある。 ・委託相談の統計で身体障害者数が少ないことについて、相談できることを、皆、知らない。同行援護で言うと、先日調べたところ、利用している人が20数名しかいないため、同行援護自体も相談のことも知られていないし分からない。また、同行援護の支援者も足りない。 <p>(3) 各専門部会での取り組みテーマ等 (意見交換)</p> <p>2019年度の各専門部会の委員構成、及び30年度の主な取り組みと現時点で継続的に取り組みが予定されている事項等の概要について、資料5及び「2019年度専門部会委員(名簿)構成」に基づいて説明・報告し、委員との意見交換を行った。各部会報告での補足意見等は以下のとおり。</p> <p>○精神保健福祉部会 (部会長)</p> <p>医療との情報連携シート(仮)「かまくら あんしんシート」を作成し、医療機関と同じ言葉での連携できればと考えている。精神障害をお持ちでひきこもっている人たちへの対応をどうしていくのか、具体的に検討していきたい。</p> <p>○地域生活部会 (部会長)</p> <p>交流会活動として、大船まつりに参加した。今年度後半でもう1～2回実施できるよう、具体的な検討を進めたい。</p> <p>市が設置する障害者差別解消支援協議会と連携し、専門部会の意見も反映されるよう取り組みたい。また、権利擁護について、研修会等を通じて市民の理解を頂けるような取り組みを進めていきたい。</p> <p>○就労支援部会 (部会長)</p> <p>「仕事応援ガイドブック」の見直しを行う。現在の構成は、就労をするためにはどういうサービスがあるのかといったガイド的な部分と、実際に市内にある事業所はどのようなところかという詳細情報の部分との二部構成になっている。前者については、もう少しわかりやすく説明できる部分を盛り込みたいと考えている。後者のところは事業所の協力を得て最新情報に更新していく。</p> <p>市内の就労支援事業所のネットワークについて、市で開催している鎌倉市障害者就労支援連絡会において市内事業所の連携を強化していきたい。また、障害者2千人雇用センターや鎌倉市障害者2千人雇用推進協議会が立ち上がっているので、そちらとの連携も強化していきたい。この中では、相談支援事業所など、関連機関との連携を含めて、いかに就労をサポートできるかということに特化して検討を進めていきたい。</p> <p>○こども支援部会 (部会長)</p> <p>現在、学童保育において発達障害や情緒障害のお子さんへの支援のニーズが高</p>
----------------------	--

<p>会議概要 (続き)</p>	<p>まっております、それに対してどのように支援すればよいか、検討、提案していきたい。</p> <p>現在、こども支援部会では行政だけでも6つの機関が関与しているが、それぞれがそれぞれの動きをしており、統一感がない中でこれら機関を丁寧に串刺ししなければいけない。本当に大変難しいと感じており、苦勞している。どうしたものか、というのが本音である。</p> <p>《主な質疑・意見等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援部会で移動支援事業について以前からテーマとして載っているが、具体的にどのような内容で進んでいるのか。 <p>→平成30年8月に市内及び近隣自治体内の事業所にアンケート調査を実施し、その結果に基づいて移動支援事業のガイドラインを変更し、2019年4月1日に施行した。内容は、介護者の就労の場合も通学支援を認めることとした点、報酬を改定し単価を上げた点などである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者差別解消法の支援協議会はいつから始まるか。 <p>→現在、作る準備中であり、できた段階でその内容についてお伝えしていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援部会の「権利擁護（啓発活動）」の取り組みは、どんなことをやる予定か。 <p>→昨年は研修会を開催し、今年も同じ形になるかとは思いますが、それだけで良いかという思いもあるので、部会で相談したい。</p> <p>(4) 地域生活支援拠点の整備に向けた取り組みについて</p> <p>鎌倉市の第5期障害福祉計画の中で、2020年度中に整備をすることとしている地域生活支援拠点の整備について、市担当から現時点での市の構想や検討状況、今後のスケジュール等について説明報告を行った。</p> <p>《主な質疑・意見等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉市では地域福祉計画を策定するが、その中で地域生活支援拠点をどのように考えるか、という視点があってよい。市全体でどうするのか、という問題であるから、この問題は障害福祉課だけで抱えるのではなく、一度、市全体としてこれをどう考えるのか、という位置付けをしてもらった上で、どうするのか考えたらよい。そうしないと他の部署は分かってくれない。 <p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回全体会の開催予定について、後日、候補を委員に通知することとした。 <p style="text-align: right;">以上</p>
----------------------	---